

## 2021 年度第 10 回価格審査会の開催について

2021 年度第 10 回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、外部の有識者によって、当財団が発刊・公開する定期刊行物等の掲載価格について、その客観性、妥当性の審査を行うものです。

開催日時	2022 年 1 月 13 日(木) ~17 日 (月)	
場 所	新型コロナウイルスへの感染防止策が引き続き必要とされていることから、上記期間中のメール会議とした	
委 員	田中 弘	日本工営株式会社 技術本部 専門顧問 技師長
	鈴木 孝之	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 工事予算計画室 室長
	鈴木 由香	株式会社日本設計 コスト設計部長
	辻 保人	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	橋本 雅宏	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：康広 誠己
	建築調査部	部長：高橋 俊一、次長：渡辺 弘一
	監査審査室	室長：今井 豊
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2021 年度第 9 価格審査会議事録(案) 確認

2021 年度第 10 回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明
<p>1. 「建設物価」2月号、「Web 建設物価」2月号の価格動向</p> <p>・ 価格が上伸した資材（工事費）</p> <p>【Web 建設物価】</p> <p>月積み契約分鉄鋼販売価格 鋼矢板、鋼管ぐい・鋼管矢板、鋼管、切板(全国)、H形鋼(北海道の全都市)、リップ溝形鋼(札幌、福岡)、市中切板(札幌、仙台、東京、新潟、名古屋)、ステンレス鋼(全都市)、溶融亜鉛めっき鋼板(近畿、中国、四国、九州、沖縄地区)、エキスパンドメタル(北海道、関東、中部、近畿、九州地区)、レディーミクストコンクリート(大子、小山、真岡、東京17区、目黒・世田谷、新潟、糸魚川、揖斐川、岩国A・B・C、佐伯)、アスファルト混合物(豊橋、岡崎、半田、豊田、新城、高知、安芸、須崎、四万十)、ストアス(全都市)、仮設・土木用木材(東北、関東地区)、コンクリート型枠用合板(全都市)、普通合板(全都市)、道路標識板(北海道・沖縄を除く全地区)、橋梁用車両防護柵(全地区)、自由勾配側溝(札幌、仙台、大阪、和歌山、鳥取、宮崎)、ダクタイル铸铁管(沖縄を除く全地区)、トンネル支保工(全地区)、パッド型ゴム支承(全地区)、铸鋼製支承(北海道・沖縄を除く全地区)、コンクリート積みブロック(札幌、旭川、室蘭)、CV電線(全地区)、青銅製バルブ(全地区)、ステンレススクラップ(東北、関東、北陸、中部地区)、銅スクラップ(全都市)ほか</p>

・価格が下落した資材（工事費）

【Web 建設物価】

レディーミクストコンクリート（小松）、燃料油:軽油・ローリー（全都市）、伸銅品(全都市)、鉄スクラップ（北海道、中国、四国地区除く全都市）ほか

・企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
質問 1	ボーリング機具(アンカー工法)の最大変動率 27.3%は「クリーニングアダプターが 139,000 円→177,000 円に上伸したことによる。」と説明されている。そもそも全国(57 都市)規模でメーカー値上げが浸透した本件の原因は、その全てがクリーニングアダプターに因る同一原因によるものと考えてよいか。その場合、変動率に大きな差を生じる理由は何か。それとも、本件のメーカーの上伸理由はいくつかあって、その中のクリーニングアダプター部品関連の上伸率が高めに現れているということなのか。	上伸した品目は、クリーニングアダプター、ドリルパイプ、インナーロッドの一部規格で、これまで採算が低かった品目をメーカーが値上げたもの。このうち特に採算が低かったクリーニングアダプターは、メーカーの値上げ幅が大きく、変動率が大きくなった。
質問 2	揖斐川地区の生コンで上伸と下落となった一部の規格は何か。また価格体系の変更とは何か。	呼び強度 36 及び 40 でスランプ 15cm 以上の規格が下落した。価格体系の変更は、規格間の価格差の変更である。協組は、骨材価格上昇などを理由に大半の規格を値上げしたが、製造コストの見直しも行い、値下げしても採算を確保できると判断した規格は値下げし、規格間の価格差を変更した。
質問 3	生コンの説明で、「セメントメーカー各社は、2,000 円以上の値上げを表明している 6 月から 3,000 円の値上げを行う方針」とあるが、セメント値上げ分の影響はどれくらいか。	1 m3 の生コン製造に使用するセメント量は、生コンの規格や製造工場によって異なるが、平均して 300kg 前後と言われている。セメントを 300kg 使用する場合、セメント価格がトン当たり 2,000 円上昇すれば、生コン 1 m3 当たりの製造原価は 600 円上昇することになる。

質問 4	平鋼、広幅平鋼は、大阪、広島等の西のエリアで上昇しているが、上昇要因はあるのか。	西日本地区では、仕入れ価格上昇を受けた流通筋の値上げが浸透した。それ以外の地区は、仕入れ価格上昇を理由とする流通筋の値上げ交渉は同様に行われているが、鉄スクラップ価格が下落するなか、前月値上げを受け入れた需要家の強い抵抗から横ばいとなった。値上げの浸透状況の地区による違いは、各地区の需給バランスの違いや売り手と買い手の交渉力の違いなどによる。
質問 5	揖斐川地区の生コンで、18-18-25 の値上げは 400 円だが、C=300-5-40 は 4,600 円も上昇しているが、大きく値上がりしている理由は何か。	協組が値上げ打ち出しに際し、各規格の製造コストの見直しも実施した。特に採算が低かった規格を大幅に値上げしたため、C=300-5-40B は変動率 25.1%の大幅上伸となった。
質問 6	自由勾配側溝の最大変動率が 42.3%と上伸率が大きく最小変動率との差も大きい、該当地区と上伸理由は何か。	最大変動率 42.3%は、鳥取地区の縦断用ふた幅 900 用が上伸したものである。メーカーが値上げを行うなかで、特に採算が低かった幅 600 以上のふたを大幅に値上げし、大幅上伸となった。
質問 7	東京地区の生コンは、300 円の上伸となったが、更にコメントでは「6 月から 3,000 円の値上げを行う方針を表明」となっている中で、「先行き、横ばいの公算大」と推測した理由は何か。	「先行き」という用語は、1～3 カ月先の状況について記述する場合に用いている。東京地区では、今月 300 円上伸した後は協組が現行価格維持の姿勢を取っており、新たな値上げが開始されるのが 5 カ月先のため、「先行き、横ばいの公算大」と記述した。
質問 8	H 形鋼において他地区が横ばいとなっている中、札幌地区が上伸している理由は何か。	北海道地区では、仕入れ価格上昇を受けた流通筋の値上げが浸透し上伸した。それ以外の地区は、仕入れ価格上昇を理由とする流通筋の値上げ交渉は同様に行われているが、鉄スクラップ価格が下落するなか、需要家の強い抵抗から横ばいとなった。値上げの浸透状況の地区による違いは、各地区の需給バランスの違いや売り手と買い手の交渉力の違いなどによる。
質問 9	建築用銅管の最小変動率が 23.8 と他の鋼材等の上昇幅に比較して大きい（空調用銅管も 1.2 と微増）。原材料の銅及び伸銅品も下落している中、建築用銅管のみ上昇率が高い理由は何か。	直近の銅価格の動きとは違い、これまでの上昇分を転嫁しているなかでの値上がりである。空調用銅管は 7、9、2 月に値上がりしたが、建築用は 7、2 月に値上がり、単月で見ると上昇率は違うが、値上がり以前の 2021 年 6 月から見れば、おおむね同水準の上昇である。
審議結果	「建設物価」2 月号、「Web 建設物価」2 月号の価格動向に問題はなかった。	